

JPタワー

建物諸元(2016年11月現在)

所在	東京都千代田区丸の内2丁目7番2号
主用途	事務所 店舗 集会場 展示場 駐車場
敷地面積	11,633.87 m ²
延床面積	212,043.05 m ²
階数	地上38階 地下4階 塔屋3階
竣工年月	2012年5月
事業者・所有者	日本郵便株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 三菱地所株式会社
設計会社	株式会社三菱地所設計
施工会社	大成建設株式会社
管理会社	JPビルマネジメント株式会社
URL	http://jptower.jp/index.html

主な評価項目

I 一般管理事項

- ・テナント様への省エネ協力の依頼と啓発を目的とした省エネ関係会議※を年2回実施。※特定テナント連絡会議、テナント説明会、省エネルギー推進会議の総称
- ・事業者・管理者が出席のもと、PDCA管理サイクルに則った、取り組み、効果検証を行うCO₂削減対策実施体制の整備、構築。

II 建物、設備性能に関する事項

- ・日射遮蔽庇、高性能Low-Eガラスの採用。
- ・太陽光追従システムによるブラインドの日射制御を採用。
- ・オフィス専用部及び共用部にLED照明の導入。
- ・中央制御可能な自然換気窓システムの導入。

III 運用に関する事項

- ・BEMS(エネルギー管理システム)を活用したエネルギー分析を行い、効率的な設備の運用を実施。

事業所の概要

1931年に竣工した旧東京中央郵便局舎の外観を低層部に保存・復原しつつ、地上38階、建物高さ200mの高層ビル「JPタワー」として、2012年5月に竣工した、賃貸用オフィスや商業施設「KITTE」を併せ持つ複合ビルです。

また、ビルの利便性を図るため、公共貢献施設として最大700名収容可能なJPタワーホール&カンファレンスや東京大学との産学連携プロジェクトによるミュージアム(インターメディアテク)、東京を訪れる国内外の観光客の方々へ幅広いジャンルの情報提供等を行うインフォメーション(東京シティアイ)を備えています。

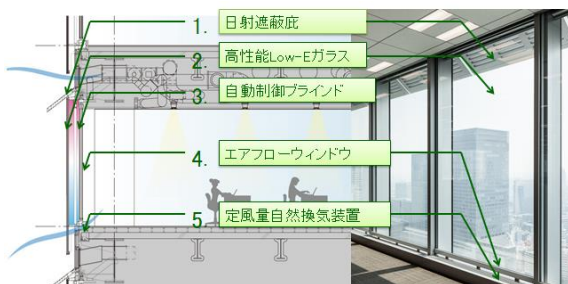
事業所における環境負荷低減の取組

【環境負荷軽減設備の導入】

オフィス棟では外皮性能を高めるため、窓上部に日射遮蔽庇を設置し、外壁側に高性能Low-Eガラスを採用。室内側にもガラスを設け、日射熱で暖まった空気を上部から排気するエアフローウィンドウを構築しています。また、窓面下部にある自然換気窓の開閉(中央制御)による自然換気が可能であり、LED照明(調光制御可能)や太陽光追従制御式ブラインドを備えています。

商業施設「KITTE」においては、太陽光を透過し、かつ発電するシースルー型の太陽光発電パネルをアトリウム上部トップライトガラスに組み込んでいます。さらに、トップライト部側面に備えた自然換気システムにより、機械力を使わない換気が可能です。

これらの環境負荷軽減設備の導入及びテナント様と一体となった省エネ活動の推進により、CO₂削減に積極的に取り組んで参ります。



オフィス棟における環境負荷軽減設備

事業所外観写真



【取組のイメージ図 CO₂削減推進体制表】

